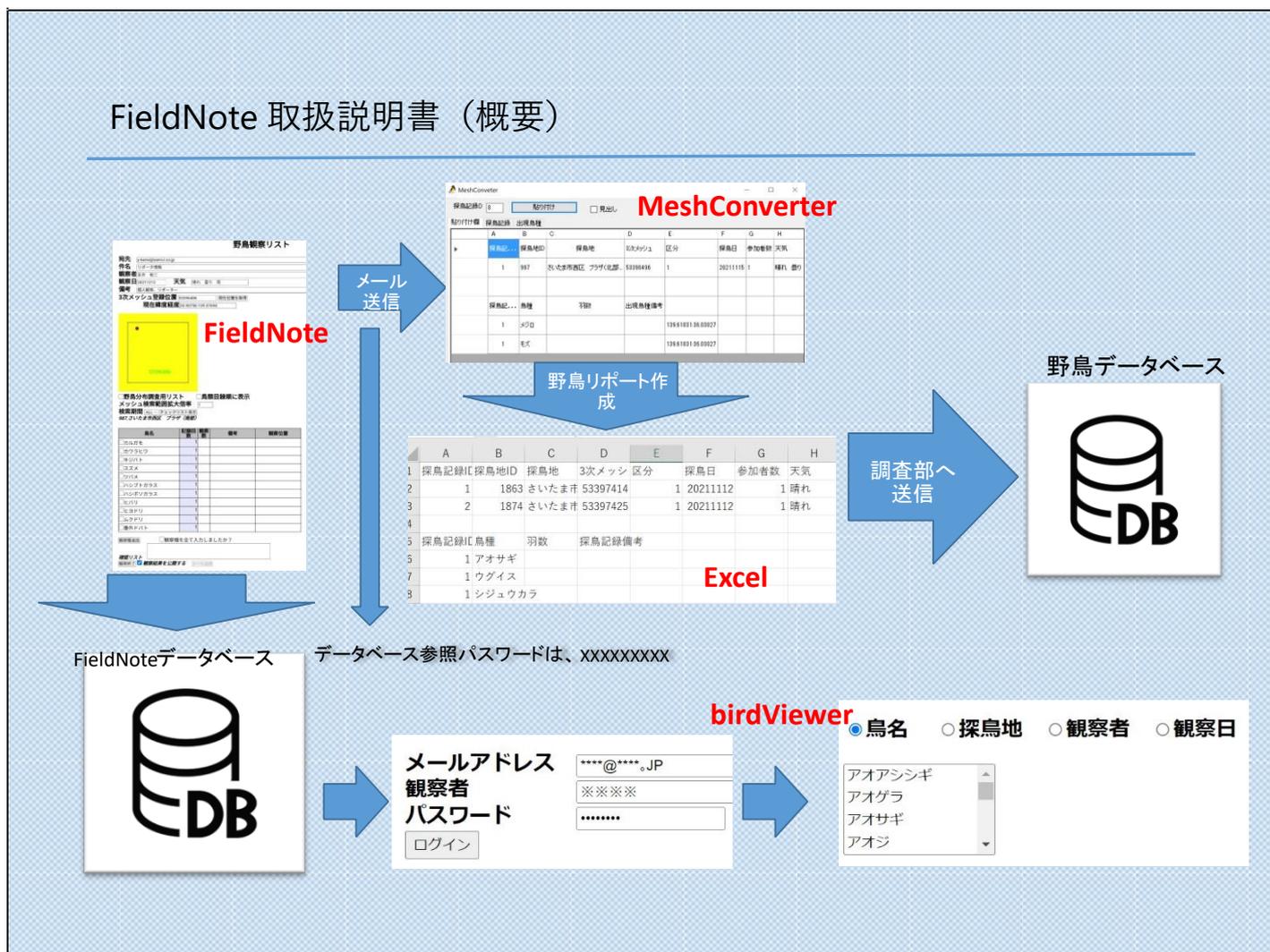


FieldNote 取扱説明書

・ 概要	P2
・ プログラムのアクセス先	P3
・ FieldNote の初期設定	P4
・ FieldNote の観察中操作とメール送信	P6
・ FieldNote の PC での操作	P8
・ MeshConveter のダウンロードと解凍操作	P9
・ birdViewer のログイン	P10
・ birdViewer で観察結果を見る	P11
・ Android 版 Google Chrome の小わざ 1 FieldNote のショートカットをホーム画面に作る	P12
・ Android 版 Google Chrome の小わざ2 使用しないタブは一覧を表示して消す	
・ Android 版 Google Chrome の小わざ3 Gboard で入力欄が隠れてしまう対処方法	P13
・ Android 版 Google Chrome の小わざ4 観察リスト画面が消えてしまった時、戻す方法	
・ Android 版 Google Chrome の小わざ 5 位置情報の取得が許可されませんでした	P14
・ Android 版 Google Chrome の小わざ 6 GPS を使わない、3 次メッシュ変換ボタン操作	P15
・ 終わりに	P16

観察時間を極力長く出来るように、キーボードからの入力操作を極力少なくして、フィールドでの観察記録を行い安くなるように心がけた仕様となっています。

FieldNote 取扱説明書（概要）



① FieldNote は観察された鳥を GPS の位置情報と関連付けて記録していきますので、3次メッシュを気にする事なしに、観察記録を入力できます。

入力された観察記録は、メール送信操作によって、最終的に2つのデータベースに蓄積されます。

ご自分の所にメール送信された観察結果は、MeshConverter(アプリ)を利用することで、3次メッシュでデータが整理された野鳥リポート形式に変換できます。それを Excel 等に蓄積しておき、定期的に調査部にお送りいただくと、個人観察記録として野鳥データベースに登録されます。

② もう一つの活用例として、観察記録を FieldNote の利用者間で共有する事により、野鳥リポーターの協力を増やす一助に出来ないかと考えています。

鳥を観察して記録した緯度経度は、観察者と調査部で見ることが出来ますが、birdViewer では、複数メッシュを連続して観察・記録した場合のデータでも、最初の3次メッシュだけしか参照する事が出来ません。

- ③ FieldNote は WEB ブラウザーを使ってインターネット回線を通じて動作するので、山間地や地下などキャリアの電波が無い場所では、起動できません。(WEB ブラウザー:ホームページの閲覧等を行うアプリ)ただし、GPS が受信できていれば、観察記録を入力する事は可能ですから、予めキャリアの電波の届く場所でスマホにチェックリストを表示しておいて、観察場所に移動してから使用する事は可能です。

観察記録の送信は、キャリアの電波が届いているのを確認してから行ってください。

FieldNote 取扱説明書(プログラムのアクセス先)

- このコンテンツは、HTML5対応の WEB ブラウザーで動作します。推奨ブラウザは、Google Chrome Ver93 以上ですが、Microsoft Edge や Safari でも動作します。

- FieldNote は下記 URL にアクセスしてください。

<https://wbsj-saitama.org/gpsreport/birdtable.php>

- メールで受信した [FieldNote](#) の観察記録を、3 次メッシュごとに整理したデータに変換する MeshConveter は、下記 URL から、圧縮ファイルをダウンロードします。

<https://wbsj-saitama.org/gpsreport/MeshConveter.zip>

MeshConveter.exe はウイルスチェックを行っていますが、発表しているコンテンツが少ない作者の場合、セキュリティソフトによってはウイルスと誤認される場合があります。セキュリティソフトのマニュアルを参照して、信頼する処置をお願いします。

- 観察記録データベース birdViewer は下記 URL にアクセスしてください。

<https://wbsj-saitama.org/gpsreport/birdViewer.php>



- ① アプリ入力の手間を省くため、ブラウザの Cookie を有効にする事をお勧めします。
- ② スマホで使用する場合は、GPS 機能も ON にしてください。Chrome での設定方法は、Android 版 Google Chrome の小わざ 5(P.14)にあります。

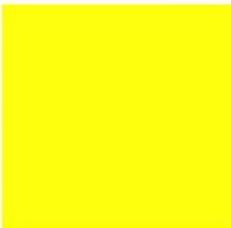
FieldNote 取扱説明書(初期設定)

- 観察結果の送信先メールアドレスと観察者名と天気を入力します。

宛先	<input type="text"/>
件名	リポータ情報
観察者	<input type="text"/>
観察日	20220312
天気	晴 曇 雨
備考	個人観察、リポーター (FieldNote)

- 探鳥地に着いたら、「現在位置を取得」を押し、GPSで測位します。

3次メッシュ登録位置 現在位置を取得
 現在緯度経度



野鳥分布調査用リスト 鳥類目録順に表示
 メッシュ検索範囲拡大倍率
 検索期間 ALL

3次メッシュ登録位置 53396486 現在位置を取得
 現在緯度経度 35.90750;139.57694



野鳥分布調査用リスト 鳥類目録順に表示
 メッシュ検索範囲拡大倍率
 検索期間 ALL

- 探鳥地でのメッシュ周辺の鳥類リストを、「チェックリスト表示」で検索します。

● FieldNote の初期設定

- 宛先欄: 観察結果を送信するご自分のパソコンのメールアドレスを入力します。
 観察者欄: 送信者の名前(フルネーム)を入力します。連名の場合は、全員フルネームで間に「・」を入れてください。
 ①の2項目は、birdViewer でのログインで必要になるので、記憶しておいてください。
 観察が終わって、メール送信を行うと、Cookie に記憶しますので FieldNote を起動する度に入力する必要はありません。Cookie の有効期限は2か月です。
- 次に、観察日を確認し、天気を入力します。(観察日:西暦年月日を8桁の数字で表示)
- チェックリストの検索条件を設定して、チェックリスト表示ボタンを押し、野鳥観察を始めます。

[参考1] チェックリストの検索条件

- チェックリスト表示に使われるデータは、野鳥データベースに記録されている過去 10 年分の3次メッシュ単位での記録に基づいています。
- ② メッシュ検索範囲拡大倍率 1:現在の3次メッシュの倍(約 2km 四方)、2:4km 、3:6km 、4:8km

5:2次メッシュの倍(約 10km 四方)を、それぞれ検索範囲にします。

記録回数が 20 回以上になるように倍率を選ぶと、観察種追加の操作を行わなくて済むようです。

- ③ 検索期間 上記②のメッシュ検索範囲の観察記録をリストアップする期間の設定です。指定した月とその前後1か月に観察されたデータを表示します。
- ④ ALL のままだと、季節に関係ない通年の観察記録をリストアップします。
- ⑤ 野鳥分布調査リストにチェックすると、県内で観察されると予想される、夏冬用の観察リストを表示します。山間部等、野鳥データベースに記録が少ない場所での観察に利用できます。
- ⑥ チェックリストの表示順序は、「鳥類目録順に表示」にチェックを入れれば目録順、チェックを入れなければ五十音順となります。

[参考2] 3次メッシュ内における現在地の表示(黄色の四角部分)

- ① 北が上になります。現在地の3次メッシュを黄色の部分に数値で表示し、赤丸部は3次メッシュのどの位置に居るかを示します。
- ② 移動して、3次メッシュが変わると、右の絵の様にメッシュが変わった旨の表示が出ます。黄色の部分をクリックすると、表示を消すことができます。
- ③ 「現在位置を取得」を実行すると、「位置情報の取得が許可されませんでした。」が表示されることがあります。Chrome に GPS の使用を許可していない場合に表示されます。GPS の使用を許可してください。
- ④ 対処方法は、Android 版 Google Chrome の小わざ 5(P.14)にあります。

(注意)

- ① スリープモードから復帰した時は、GPS 電波の受信開始に時間が 2 分以上かかることがあります。
- ② 待っても自動復帰しない時は、「現在位置を取得」ボタンを押してください。
- ③ チェックリストに入れていたチェックが消えた画面になってしまう場合があります。しかし、データが無くなったわけではないので、ご安心ください。Chrome の小わざ 2(P.12)や小わざ 4(P.13)の操作で元に戻せます。

FieldNote 取扱説明書(FieldNoteの観察中操作とメール送信)

過去に記録された種と記録回数が表示されます。

鳥名	記録回数	観察数	備考	観察位置
<input type="checkbox"/> カルガモ	2			
<input type="checkbox"/> コガモ	2			
<input checked="" type="checkbox"/> スズメ	1			
<input type="checkbox"/> ハシボソガラス	1			
<input type="checkbox"/> ヒヨドリ	1			
<input type="checkbox"/> マガモ	1			
<input type="checkbox"/> ムクドリ	1			

観察種追加 観察種を全て入力しましたか?

The screenshot shows the app's main interface with a list of bird species and their observation counts. A red arrow points from the 'スズメ' (Suzume) row to the '確認リスト' (Confirmation List) dialog box. The dialog box contains a list of species with their observation counts and a '確認リスト' (Confirmation List) section. Below the dialog box, there are two checked options: '観察結果を公開する。' (Publish observation results) and '観察結果のデータベースへの登録を調査部に依頼する' (Request registration of observation results to the research department). There are buttons for '観察終了' (End observation) and 'メール送信' (Send email). A blue arrow points from the 'メール送信' button to a success message dialog box that says 'kanai.meの内容 Data Loaded: メール送信成功です' (kanai.me content Data Loaded: Email sent successfully) with an 'OK' button.

観察した種名にタップすると、1秒間画面が黒くなり、観察位置の緯度経度を記録します。チェックミスした時は、記録回数欄をタップして削除します。

観察数や備考に特記事項を記録出来ます。

チェックリストに無い種を観察した時は、「観察種追加」を押し、種名を追加します。

観察を終了したら、「観察終了」を押すと、メール送信が可能となります。

メール送信ボタンを押して、右のダイアログが現れたら、送信成功です。

送信されたメールの最後に、birdViewerで使用するパスワードが添付されています。

送信されたメールを使用して、MeshConverterを通して、個人観察情報を作成できます。

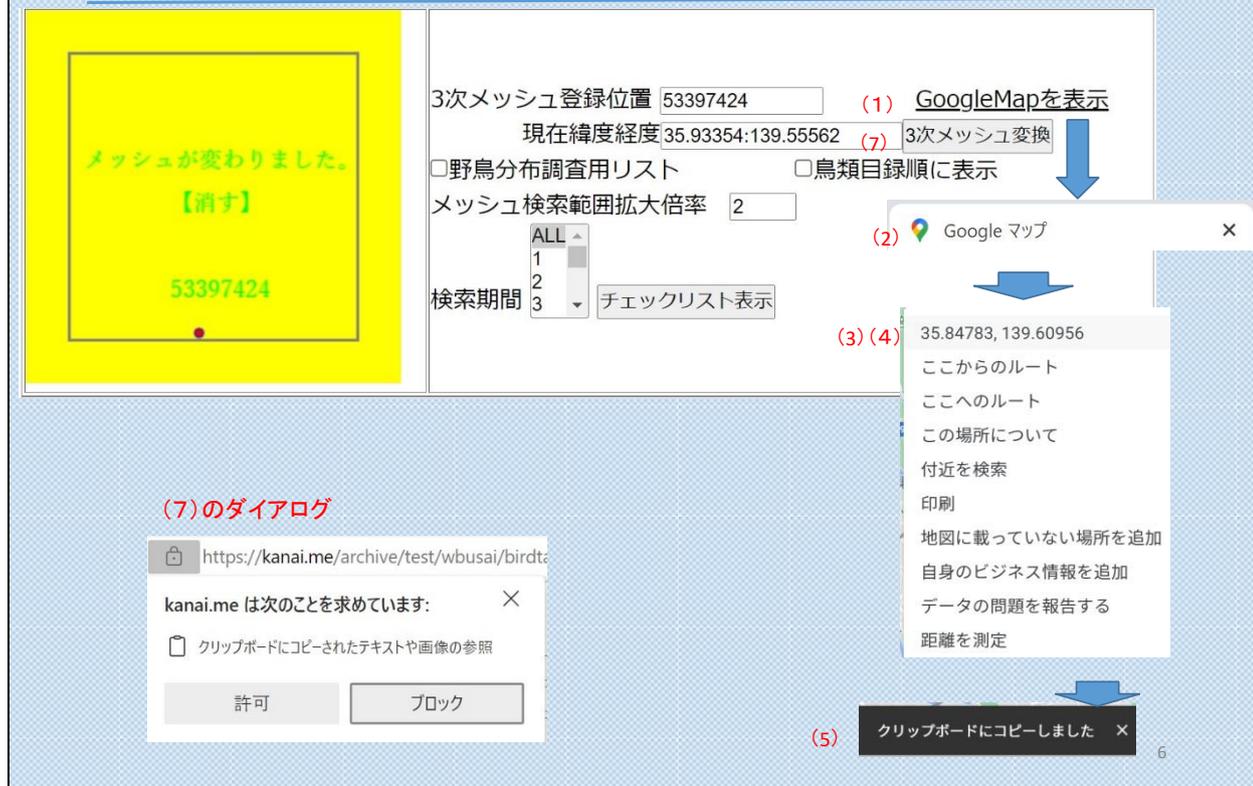
5

● FieldNote の観察中操作

- ① 複数のメッシュを続けて観察する場合は、最初のメッシュでチェックが付いていた鳥でも、メッシュが変われば、新しいメッシュのデータとして再度タップして記録する必要があります。
- ② メッシュを気にしないで観察するには、鳥が出るたびにタップして記録することが最善の方法です。同じメッシュで同一種を複数回タップして記録しても、なんら問題ありません。MeshConverter を使用してデータをメッシュごとに整理する際に、同一メッシュで鳥が重複している場合は1つにまとめられます。
- ③ 記録回数欄の数字は、リストの検索条件で、野鳥データベースに記録されている回数を表します。
- ④ ③「観察種を全て入力しましたか？」チェックボックスは、上の方にある備考欄が、「個人観察、リポーター」から、チェックなしの場合は「個人観察、野鳥情報」に、チェックありの場合は「個人観察、野鳥リポーター」と変わります。(野鳥データベースにおけるデータ整理の関係で必要な情報です。)
- ⑤ 一度メール送信を行うと、メール送信ボタンは無効になりますが、観察終了ボタンをタップすると再び有効になります。

- ⑥ 観察終了後でも FieldNote をクローズせずに残しておけば、新たな鳥が出現した時に、何度でも追加する事が可能です。
- ⑦ メール送信してから3時間以内であれば、同じユーザから同一メッシュの観察記録が送信された場合、データベースは上書き処理を行いますので、データベースへの重複登録の心配はありません。
- ⑧ ただし、birdViewer で使用するパスワードは最後に送信されてものだけが有効なので、受信したメールの管理は重要です。
- ⑨ ⑦「観察結果を公開する」にチェックが入っていると、観察結果が birdViewer で参照できるようになります。
- ⑩ 「観察結果を公開する」にチェックが無くても、birdViewer を使って報告者同士で共有されている観察記録を、メール送信してから2か月間は見る事ができます。

FieldNote 取扱説明書(FieldNoteのパソコンでの操作)



● パソコンからの FieldNote の操作

- ① フィールドで紙のノートに記録して帰宅してから、Google マップの位置情報を参照しながら、FieldNote を使って記録の整理が出来るようにしました。
- ② スマホからアクセスした場合とは画面が変わります。
- ③ パソコンからアクセスすると GPS が使えないので、Google マップの地図から緯度経度を取り出してメッシュに変換します。

[操作手順]

- ① 「GoogleMap を表示」のリンクをマウスの左ボタンでクリックします。
- ② 「Google マップ」が開くので、観察地の地図を拡大表示します。
地図の移動や拡大は、マウスのスクロールボタンやキーボードから＋／－や矢印キーで行います。
- ③ 観察地の特定が出来たら、その場所にマウスカーソルを置いて、マウスの右ボタンを押します。
- ④ 緯度経度表示のプルダウンが出るので、緯度経度部にマウスを移動させ、左マウスボタンで選択します。
- ⑤ 地図画面の下部に「クリップボードにコピーしました」と表示されます。
- ⑥ FieldNote 画面に戻って、「3次メッシュ変換ボタン」を左ボタンでクリックすると、クリップボードに入っている緯度経度の値を使用して、メッシュが表示されます。

- ⑦ ブラウザーで初めて⑥の操作をした時、クリップボードの使用可否を確認するダイアログが表示される事がありますが、許可を選択してください。

スマホの観察中操作と同じ、観察チェックリストを表示する操作を行います。

また、Android スマホでパソコンと同様の操作を行う方法は、

P15「Android 版 Google Chrome の小わざ 6 GPS を使わない、3 次メッシュ変換ボタン操作」を参照してください。(Android のバージョンに制限があります)

FieldNote 取扱説明書(MeshConveter のダウンロードと解凍操作)

- MeshConveter は Windows8.1 以上で動作します。
- 下記 URL から、圧縮ファイルをダウンロードします。
<https://wbsj-saitama.org/gpsreport/MeshConveter.zip>
- ダウンロードしたファイルをエクスプローラーで選択し、ダブルクリックをすると、圧縮された、「MeshConveter.exe Meshdata.csv Field Note 取扱説明書.pdf」の 3 ファイルが現れます。(この操作が可能なのは、Windows10 以上の場合です。他の OS では解凍ソフトを使用する必要があります)
- 「MeshConveter.exe Meshdata.csv」の 2 ファイルを選択してクリップボードにコピーし、作業に使うホルダーに張り付けます。(2 つのファイルは必ず同じホルダーに置いてください。)
- MeshConveter は Windows Defender によって認識されないソフトになります。使用許可の操作は Zip ファイルに同梱の「MeshConveter 取扱説明書. pdf」を参照ください。

MeshConveter.exe はウイルスチェックを行っていますが、発表しているコンテンツが少ない作者の場合、セキュリティソフトによってはウイルスと誤認される場合があります。セキュリティソフトのマニュアルを参照して、信頼する処置をしてください。

- ① MeshConveter には Excel の VBA を使用したバージョンも用意していますが、メールサーバーとメールソフトの組み合わせによって、上手く動作しない場合ある事が判明しています。
- ② お使いのパソコンで MeshConveter.exe が動作しない場合は、[調査部のメールアドレス](#)にその旨をご連絡いただければ、Excel のマクロ付きバージョンを、お送りする事も可能です。

。

FieldNote 取扱説明書(birdViewerのログイン)

- ・ [観察記録データベースは下記URLにアクセスしてください。](#)
- ・ <https://wbsj-saitama.org/gpsreport/birdViewer.php>

FieldNote取扱説明書(初期設定)で入力した、宛先をメールアドレスに、観察者を観察者欄に入力します。



FieldNoteの観察中操作で送信したメールの最後に、8桁のパスワードが添付されているので、パスワード欄に入力し、ログインボタンを押します。

メールアドレス	****@****.JP
観察者	※※※※
パスワード
<input type="button" value="ログイン"/>	

- ① 8桁のパスワードは、観察結果をメール受信した、最後のパスワードだけが有効です。
- ② birdViewer にアクセスできる有効期限は、観察結果を最後にメール送信してから、2か月です。
- ③ あなたの観察記録は、2か月しても消える事はありません。

FieldNote 取扱説明書(birdViewerで観察結果を見る)

現在の表示内容は、サンプルです。
皆様のご要求でコンテンツの拡充を行いますので、ご要望をお寄せ下さい。

鳥名 探鳥地 観察者 観察日

アオアシシギ
アオゲラ
アオサギ
アオジ

チェックを変更すると、下のリストが変わります。
リストから一つを選択すると、FieldNoteデータベースの検索結果が表示できます。
(データの中身はデバック中の模擬データが主ですが、適当に操作して感触を確かめてください)

- ① 観察日での検索では、観察者を消すなど、プライバシーに関する項目は、削除してあります。
- ② 観察報告された緯度経度は、観察者と調査部で見ることが出来ますが、birdViewer ではチェックリストを作成した最初の3次メッシュだけを参照する事が出来ます。
- ③ 長い距離を移動して記録された複数メッシュの観察記録の場合でも、上記②のように2番目以降のメッシュは表示されませんので、ご注意願います。
- ④ 観察者の表示は、現在はオープンな状態にしています。

FieldNote 取扱説明書 (Android版Google Chromeの小わざ1)

- FieldNoteのショートカットをホーム画面に作る。
- (1) FieldNoteのトップページを開きます。
- (2) アドレスバーの右側にあるメニューボタンをタップして、メニューを開きます。
- (3) 下の方にある「ホーム画面に追加」という項目をタップします。
- (4) ホーム画面に追加ダイアログが表示されたら、追加ボタンを押します。



10

FieldNote 取扱説明書 (Android版Google Chromeの小わざ2)

FieldNoteはGPSが測位した結果をリアルタイムに使用します。
FieldNoteを複数起動していると、処理が重くなり測位動作が不安定になる事があります。
タブ一覧を確認して、複数のFieldNoteが立ち上がっていない様に管理してください。
使用しないタブは一覧を表示してXをタップして消します。
FieldNoteを終了する時も、Xをタップします。



11

- ① タブを複数開いているとメモリーの消費量が多くなって、スマホの反応が悪くなる事もあります。何より大切な観察結果が消える可能性がありますので、探鳥前には整理する事をお勧めします。
- ② 「メモリーの使用量が不足しています」が表示されている場合は、FieldNote を使用する前に、スマホ本体の再起動をしてメモリーを開放してください。

FieldNote 取扱説明書 (Android版Google Chromeの小わざ3)

- ・ 観察数や備考欄にGboardで文字入力しようすると、入力欄が隠れてしまうことがあります。

- (1) キーボードを消して観察リストに戻すには、▽をタップします。
- (2) オートコンプリートが出る事があります。オートコンプリートを消すのは赤枠部分のキーをタップすると消すことができます。
- (3) 不要なオートコンプリートのキャッシュを消すのは、不要なキャッシュの項目を長押しします。

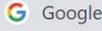
(3)ここを長押し

(1)キーボードを消す



12

FieldNote 取扱説明書 (Android版Google Chromeの小わざ4)

- ・  戻るボタンを押してしまった時の、観察リスト画面に戻す方法
- ・ パソコン版のChromeでは  Google でページの移動ができますが、Androidでは操作方法が違います。
- ・ メニューバーの中です。 
- ・ 更新は、画面の空白部分を下方方向にスワイプします。  アイコンが出ます。



13

FieldNote 取扱説明書 (Android版Google Chromeの小わざ5)

- ・ 位置情報の取得が許可されませんでした。の対処方法



- (1) アドレスバーの右側にあるメニューボタンをタップして、メニューを開きます。
- (2) 設定 > サイトの設定 > 位置情報の順にタップします。
- (3) wbsj-saitama…の項目を選択して、許可します。
- (4) (3)の項目が、許可欄に移動したか確認します。



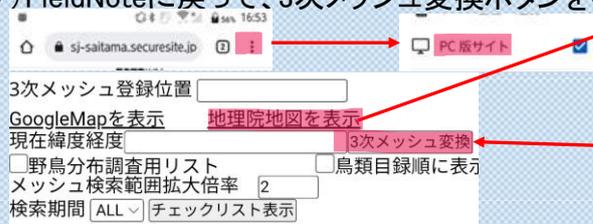
14

- ① OS 自体の GPS 機能を停止されている場合がありますが、OS のバージョンと機種毎で操作方法が違いますので、お使いの機種のマニュアルを参照して、許可操作をしてください。
- ② ここでは、Chrome の許可操作手順を示します。

FieldNote 取扱説明書 (Android版Google Chromeの小わざ6)

- Android版Google ChromeでもGPSを使わずに、電子国土Webから緯度経度の3次メッシュ変換ボタン操作が行えます。(Androidバージョン8以上で確認済み)

- (1) FieldNoteのトップページを開きます。
- (2) アドレスバーの右側にあるメニューボタンをタップして、メニューを開きます。
- (3) 下の方にある「PC版サイト」にチェックします。
- (4) 「地理院地図を表示をタップ」して開きます。
- (5) 地図の十字の中心を3次メッシュを知りたい場所に合わせます。
- (6) 下の緯度経度表示部を長押しして、クリップボードにコピーします。
- (7) FieldNoteに戻って、3次メッシュ変換ボタンを押します。



- 地理院地図の十字マークは、右上にある設定>中心十字線 ON で、表示できます。
- 地理院地図の緯度経度表示は、左下の矢印を何度かクリックすると、表示できます。

FieldNote 取扱説明書(終わりに)

- FieldNote と付属プログラムは、金井祐二が作成しました。
- 著作権は放棄しませんが、GNU の規定に準拠します。
- 本プログラムの誤動作による損害は補償いたしかねますが、解決には誠意をもって対処します。
- お問い合わせは、research@wbsj-saitama.org へお願いします。

改訂履歴

2021年12月15日 初版発行

2022年3月12日「観察結果のデータベースへの登録を調査部に依頼する」追加

2022年5月22日「Android 版 Google Chrome の小わざ 6」追加

2023年3月8日 サーバー変更による URL 修正